

回 答 書

競争加入者各位

契約担当役

独立行政法人日本スポーツ振興センター

理事長 芦 立 訓

調達件名：次期スポーツくじ販売払戻システムの構築及び運用保守の調達

標記調達件名の質問書について、以下のとおり回答します。

No.	質問事項	回答
1	クラウドサービスの契約形態に関する質問です。 今回、JSCさまはクラウドサービス利用に際して、クラウド事業者とのあらゆる契約作業にかかわらないという認識でよろしいでしょうか。 あくまで、請負者のみが次期スポーツくじ販売払戻システムにて利用するクラウドサービスを提供するクラウド事業者とのあらゆる契約作業を行い、JSCさまとクラウド事業者の間には覚書・協定・合意等も含めた一切の契約関係が存在しない形となるものと理解しております。	ご認識のとおりです。 クラウドサービス事業者とのサービスに関する契約・支払いは請負者が行うことを想定しています。 ただし、事務手続き上、JSCが直接取り交わす必要のある書面等がある場合にはその必要性についてJSCが認めた場合においてのみ、JSCが手続きするものとします。
2	契約形態に関する仕様として、以下の記載がございます。 「公平性担保の観点からクラウドサービスの利用契約を別の運用保守事業者へ無償で移管できる状態とすること。」 ・「移管」とは、請負者とクラウド事業者との契約の中で、最も上位として定義されている管理者権限以下を、構築された環境等を完全に保ったまま、別の運用保守事業者へ譲渡すること、という理解でよろしいでしょうか。 ・クラウドサービスの移管については、令和12年3月31日以後のみならず、それ以前の契約期間中も含め、あらゆるタイミングでも発生しうるものであるという想定でよろしいでしょうか。	1点目は、ご認識のとおりです。 2点目については、現時点では令和12年3月31日まで請負者にてクラウドサービスの利用契約を保持してもらうことを想定しています。 ただし、契約期間内においても、クラウドサービスの全体もしくは一部分の移管に関してJSCの要望に基づき、協議の上ご対応ください。

No.	質問事項	回答
3	<p>第5章1. (3) 規模要件について <表5. 4 規模要件 (年間くじ販売数等)>、 <表5. 5 規模要件 (一日あたりくじ販売数等)>については、今後の商品構成やくじ種売上比率によって、変動するものと理解しております。</p> <p>各応札者で想定の置き方や、実現性能の解釈に差異が生まれる可能性があるため、記載されている規模要件でサイジングした場合には、公平性が担保できなくなる懸念がございます。検討に際しまして、こちらの規模要件を設定された背景を理解したく、ご教授下さい。</p>	<p>懸念事項については、理解しました。</p> <p>本システム開始時、現状のくじ種、開催回数を前提に、年間約1,480億円規模の売上に対応できるシステム構成とすることを要件とします。</p> <p>また、更なる売上拡大を見越し、最大拡張時の数値を目指した拡張性のある仕組みとしてください。</p> <p>ご指摘の商品構成やくじ種売上比率によって、変動する具体的な数値については、上記要件を踏まえて構築フェーズで協議して定めるものとします。</p>
4	<p>第5章1. (3)、第5章1. (4) 構築期間中の要件の再定義について</p> <p>構築期間中に要件を再定義をすることは、再設計、テスト見直し等 (スケジュール延伸/費用増) が、発生する可能性があります。そのため、5期販売払戻システム運用保守期間中に状況を見ながら、協議・合意させて頂けますでしょうか。</p>	<p>スケジュールや費用面での制約があることは承知しておりますが、原則要件の再定義とその取り込みは行うとご理解ください。</p> <p>要件の再定義とその取り込みにおけるスケジュール上の制約や、構築期間中に取り込みができない要件への対応方針等は技術提案書でご提示ください。</p>
5	<p>第5章 1. (4) <表5.7>性能要件について <表5. 7 投票受付に係る性能要件>における提携サイトの予約購入については、各提携サイト毎に連携タイミングが異なり、分散されるかと存じます。また、現状の平均値が100枚/秒程度であるため、仮に重複した場合も、記載の枚数に到達する可能性が現状低いです。640枚/秒/本部の記載は、640枚/秒という解釈でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p> <p>提携サイトの予約購入における性能指標は、現行システムの実績最大値をもとに 640 枚/秒と設定しております。</p>
6	<p>第5章 1. (4) <表5.7>性能要件について</p> <p>PC・スマホのページアクセスの性能要件である760PV/秒とPCの投票性能である 380 枚/秒、スマホの投票性能である250枚/秒は同時に満たす必要がある。と記載がありますが、760PV/秒の中に380枚/秒があるという理解でよろしいでしょうか</p> <p>(別々の場合、760PV/秒+XPV/秒(380枚/秒))となり、要件を超過した数値となります。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p> <p><表5. 6 参照に係る性能要件>に記載のある公式サイトへのページアクセスの性能指標 (PC・スマホそれぞれ 760PV/秒) には、投票を目的としたアクセスも含まれます。</p> <p>ただし、投票を目的としたアクセスとそれ以外のアクセスの割合や、PV としてカウントすべき画面等の前提条件は、構築期間中に現行システムの公式サイトへのアクセス状況を確認し、前提条件として採用すべき最適なタイミングを見極めた上での定義が必要と考えております。</p>

No.	質問事項	回答
7	<p>第5章 ② ア) 検証環境について 各外部接続の数と同数の検証環境を用意するのではなく、各外部接続先とのテストが実施可能な環境を用意する、という認識で合っていますでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。 各外部接続の数と同数の検証環境を常に用意する必要はございませんが、外部接続先からのテスト要望に応じて環境数の増減ができることを求めています。仮想サーバやクラウドサービスの調整により実現できると考えております。 なお、現行システムにおける検証環境数は参照資料である月次報告資料の「別紙 1_検証環境使用予定.pdf」をご確認ください。</p>
8	<p>第5章4(1) スケジュール策定について 「<表5. 14 マイルストーン>に示すマイルストーンを遵守すること。なお、マイルストーンは、スポーツ振興くじ事業上の都合により変更される可能性がある。」との記載がありますが、変更内容によってはマイルストーン遵守が困難な場合も想定されます。そのため、マイルストーンの変更に伴うスケジュール・コストは、別途協議させて頂く認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>原則提示されたマイルストーンは遵守するものとし、変更に対応できるような体制としてください。ただし、変更内容によっては別途協議させていただきます。</p>
9	<p>第7章2<表7. 1> 追加構築案件の見積 追加案件の概算見積について 概算見積にあたっての前提条件や、インプット情報粒度（要件、期間、輻輳案件の有無）が揃っている案件については、上下30%以内に収まります。ただし、前提条件や、インプット情報粒度が揃っていない場合には、概算見積精度に影響があり、上下30%以内に収まらない案件があります。そのため、要件定義/基本設計後に概算見積りを提示する場合がございます。 概算見積もりの提示プロセス等については、応札後、協議させていただきますでしょうか。</p>	<p>概算見積もりの提示プロセス等については、応札後に別途協議させていただきます。 ただし、概算見積は要件の確定前に提示頂くものであり、確定後にご提示頂くものは正式見積となる認識です。 概算見積の前提条件やインプット情報について、要件定義前に JSC に対して応札内でヒアリングやディスカッション等を行い精緻化して頂きますが、その時間を確保できない場合の進め方は、ご提案頂いた上で協議します。</p>
10	<p>第7章2<表7. 1>SL0について サービス提供率は99.99%以上が目標値となりますが、サービスを提供する基盤となるクラウドサービスのクラウド月間稼働率は協議の上で目標値を定めるとなっています。 クラウドサービスの各構成アイテムの稼働率は99.95%以上であり、クラウドサービスの月間稼働率は99.99%未満になり、サービス提供率を下回ります。 サービス提供率の算出において、クラウドサービスによるシステム停止時間等は計算に含めない認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。 クラウドサービス適用箇所については、[サービス提供率] (99.99%以上) の適用に含まれません。 クラウドサービスについては別途、「クラウド月間稼働率」にて目標値を定義しています。</p>

No.	質問事項	回答
11	<p>第7章2<表7. 1>SL0について 24時間×365日で8,760時間となり、連続した平均稼働時間と理解しました。期間としては、直近の1年間を基本として、評価を想定しておりますが、認識相違ございますでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
12	<p>第9章2. (1) .ウ) 納入成果物について 検収/納品タイミングについて、提案マスタスケジュールに沿って、協議させて頂くことは可能でしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。 必要に応じて協議は可能ですが、原則的に別添8_納入成果物一覧.xlsxの納品期限のとおり、納品頂くものになります。</p>
13	<p>第5章4. (2)③プロジェクト計画書について プロジェクト計画書のスコープは構築期間のみでしょうか。</p>	<p>調達仕様書に要件として記載している移行期間や運用保守期間も含まれるとご理解ください。</p>
14	<p>第5章4. (2)③プロジェクト計画書について プロジェクト計画書に詳細な要件定義計画を含めて良いでしょうか。また要件定義以降のフェーズについては随時詳細化していく認識で良いでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。 プロジェクト計画書に要件定義計画は含めて良いです。 要件定義以降は前フェーズの実施期間中に計画フェーズを設けタスクやスケジュールの詳細化を行う認識ですが、各フェーズの概算工数に基づくマスタスケジュールや、推進方針、検討・実施内容、進捗管理の方法についてはプロジェクト計画書に記載してください。</p>